

式 辞

海から吹く風に、春の香りが感じられるこのよき日に、ご来賓の皆様、保護者の皆様と共に、令和5年度、第77回 福間中学校 卒業式が行えますことを、心から感謝申し上げます。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんのこの3年間は、コロナ禍に始まり、大規模校で全校生徒が一堂に会するスペースが足りないなど、一体感をつくるむずかしさが常にありました。また、部活動では、大人数になり、活動する場所や時間、出番の確保など、課題を解決することに追われたことと思います。そんな中で、生徒会のリーダーを中心にみんなが、学校行事や様々な活動を協力、団結し、明るく楽しい学校づくりに努力したことは、たいへん素晴らしいことでした。体育祭では3年生が必至な姿を見せ、リーダーシップを発揮し、ブロックをまとめ、お互いを応援して盛り上げる姿にとっても感動しました。文化祭では文化週間という新しい形で、最高のクラス合唱や素敵な展示、中庭での自由発表など新たな伝統を創り上げてくれました。未来会議の取組など、地域の方と心を込めて交流した姿、CS委員を立ち上げ地域ボランティアやお年寄りの方へのスマホ教室などを進めた姿、明るく元気よく体育の授業を行い、教室の授業では、クロームブックを使いこなしてよく勉強し、互いに高め合うセルフ授業や、仲間を大切に生徒会活動、学級活動に責任をもって取り組み、学校生活をより良いものにしようと歩んできた皆さんの姿は、とても熱く感動的で、後輩たちの、目標となりました。また、日本代表やジュニアオリンピック、全国大会出場などスポーツで秀でた結果を残した人もいました。たいへん素晴らしいことです。たくさん頑張ったことや、イオンモールで代表クラスが合唱したこと、1116名もの全校生徒がいたことも、将来皆さんが中学校時代を振り返った時、この仲間をつなぐ良い思い出となり、頑張ったことは自信や誇りとなることでしょう。

さて、卒業される皆さんへ、ダンスプロデューサーの夏まゆみさんの言葉をお話しします。それは、

「人は誰でも、正しい努力を続ければ、自信と実力を備えた、エースと呼ばれる存在になれる。そして、いつの日か必ず幸運にめぐり合えるということ」です。この正しい努力とは、自分の強みや弱みを知り、自分でその努力が正しいのか考えること。何を目指していて、何をやればいいのか、自己を確立し、自信をもって努力を重ねて前に進んでいくということです。この努力の積み重ねが、目標を達成し、成功したり、思わぬ道が開けたり、いつの日か必ず幸運にめぐり合える。これは、エースと呼ばれる人たちが行っていることで、人は誰でもそれぞれの場所でエースになれると言っています。

また、何があっても、どんなことが起きても生きていさえすれば、いつか必ず幸せがやってくる。ふっと笑えるとき、何もなくても穏やかな日々、きらめく瞬間、小さくても幸せを感じる時・・・この世で一番大切なもの、それは命、いちばん大切なものは揺ぎなくあなた自身の方自身の命です。それを、いちばんの前提にして生きてください。と

卒業生の皆さん、これからも命を大切に、幸せを感じ、自信をもって正しい努力を続け、幸運にめぐり合い、成功してください。そして、エースと呼ばれる存在になってください。

本日も多用の中、福津市市長様はじめ国会議員・市議会議員の皆様、校区小学校の校長先生方、学校運営協議会会長様・本校PTA会長様・地域郷づくりの会会長様、教育委員会の皆様、ご臨席賜りありがとうございました。そして、最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。これまで、福間中学校の教育活動への、ご理解ご協力、ありがとうございました。皆様方の大切なお子様が今後も幸せな人生を送られますよう、前途に幸、多からんことを心よりお祈りし、式辞といたします。

令和六年三月八日
福津市立福間中学校
校長 清水 光朗